

一般国道42号 <sup>たなべにし</sup>田辺西バイパス

令和4年3月20日（日）に開通式を開催します

- 国道42号田辺西バイパス(延長3.8km)のうち<sup>たなべ</sup>田辺市<sup>はやちよう</sup>芳養町<sup>せいじろ</sup>清地路～<sup>おおや</sup>同町大屋間の延長1.6kmが、令和4年3月20日(日)15時に2車線で開通します。この区間の開通により、田辺西バイパスは全線開通することになります。
- 開通を記念して、地元関係者の方々をお招きし、開通式典を下記の通り開催します。

1. 日時: 令和4年3月20日(日) 10:00～ 開式(受付開始 9:00～)
2. 場所: <sup>たなべにし</sup>田辺西バイパス<sup>おおや</sup>大屋交差点 ( <sup>たなべ</sup>田辺市<sup>はやちよう</sup>芳養町<sup>おおや</sup>大屋 )
3. 共催: 国土交通省近畿地方整備局、和歌山県、<sup>たなべ</sup>田辺市、みなべ町
4. 取材: 報道関係者で取材希望の方は、【別紙】「報道関係者へのお知らせとお願い」を参照下さい。
5. コロナ対策: 感染症対策として、3つの密(密閉・密集・密接)を避けて開催致します。

- ・密閉対策: 定期的な換気、空気清浄機の設置
- ・密集対策: 前後左右席は十分な間隔、密にならない受付設定
- ・密接対策: 会場内のマスク着用徹底、消毒液の設置

**※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一般の方は、参加出来ません。**

**※新型コロナ感染拡大の状況を考慮し、延期・中止する場合があります。**

< 取 扱 い >

< 配 布 場 所 >

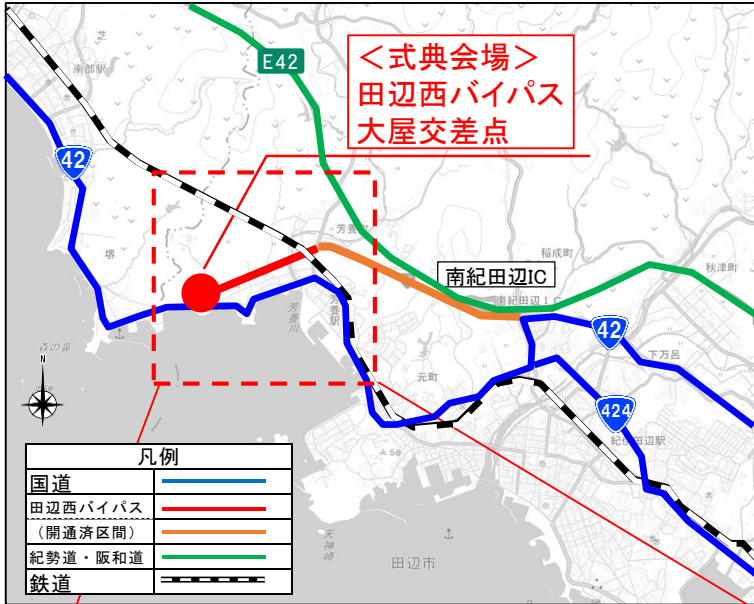
近畿建設記者クラブ	大手前記者クラブ
和歌山県政記者クラブ	田辺記者クラブ
和歌山県政放送記者クラブ	
和歌山県地方新聞記者クラブ	

< 問 合 せ 先 >

国土交通省	近畿地方整備局	紀南河川国道事務所
副所長	<sup>ほんだ</sup> 本田 <sup>あきら</sup> 明	
事業対策官	<sup>こまる</sup> 小丸 <sup>ひろし</sup> 博司	
TEL 0739-22-4564 (代表)		

# 田辺西バイパス 開通式典会場位置図

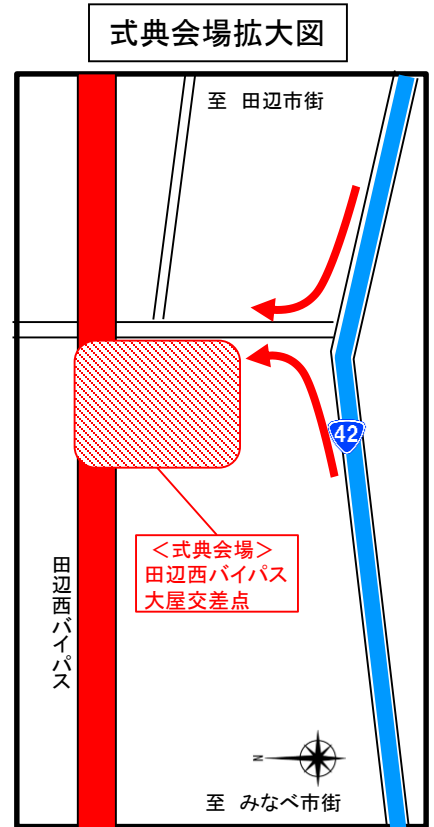
**<式典会場>**  
**【受付開始9:00 開式 10:00】**  
**『田辺西バイパス大屋交差点』**  
たなべ はちよう おおや  
**(和歌山県田辺市芳養町大屋)**



出典: 国土地理院ウェブサイト



出典: 国土地理院ウェブサイト



# 報道関係者へのお知らせとお願い

## ■ 田辺西バイパス 開通式

開催日時：令和4年3月20日(日) 10時00分～

会場：たなべ にし田辺西バイパス<sup>おおや</sup>大屋交差点  
(和歌山県田辺市<sup>たなべ はやちよう おおや</sup>芳養町大屋)

タイムスケジュール(予定)

9:00	受付開始
10:00	開式
	鉄入れ・くす玉開披
	通り初め

共 催：国土交通省近畿地方整備局、和歌山県、田辺市、みなべ町

## ■ 開通式に関する取材について

取材にあられる報道関係者は、以下の事項に十分留意して頂き、行事の円滑な遂行にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

### 【事前登録】

- ・取材を希望される方は、3月11日(金)12時までに下記のいずれかの方法により事前登録をお願いします。

<電子メールによる申込>

メール本文に①社名 ②参加人数 ③参加者の氏名(同行者含む) ④連絡先(住所・電話番号・FAX番号) ⑤駐車券の郵送先(住所・電話番号) ⑥車両台数 ⑦車両ナンバー・車種・車色を記載のうえ [kk-otayori-kinan@mlit.go.jp](mailto:kk-otayori-kinan@mlit.go.jp) までご送付下さい。

<FAXによる申込>

別添のFAX申込書に記載のうえ申込書に記載のFAX番号までご送信下さい。

### 【留意事項】

- ・当日、記者及びカメラマンの方は、自社の腕章を着用していただきますようお願いいたします。
- ・式典進行上の都合により、内容・時間が変更になる可能性がありますので、予めご了承ください。
- ・写真・VTR撮影は、所定の場所をお願い致します。所定の場所以外での撮影はご遠慮下さい。※撮影場所については、当日ご案内致します。
- ・式典の進行に支障を及ぼしますので、式典における出席者への直接的な取材はご遠慮下さいますようよろしくお願い致します。
- ・今般の新型コロナウイルスの状況を踏まえ、取材については各社1名(+撮影者1名)とし、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」等の感染症予防対策にご協力をお願いいたします。

### 【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所

総務課 <sup>たきもと たかもと</sup> 瀧本、高本

TEL 0739-22-4564(代表)

## 取材申込書(FAX)

紀南河川国道事務所 総務課 開通式担当 宛

FAX番号:0739-26-3991

貴社名	
(ふりがな) ご担当者氏名	氏 名 所属部署名等
(ふりがな) 同行者氏名	氏 名 所属部署名等
ご連絡先	郵便番号 〒 — 住 所: 電話番号: ( ) FAX番号: ( ) E-mail :
駐車券の郵送先 (ご連絡先と同じ場合は 無記入で結構です)	郵便番号 〒 — 住 所: 電話番号: ( )
車両ナンバー等	ナンバー: 車種: 色: (記載例) 和歌山300わ1234

※参加者全員の氏名を記入願います。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、下記の点についてご留意ください。

1. 人と人との十分な間隔の確保
2. マスクの着用
3. 会場入室前の手指消毒の実施
4. 発熱等、風邪の症状が見られる場合などは、来場をご遠慮ください
5. 取材の方の身分証明のお願い
6. 取材については各社最低限の人数でお願いいたします

※当日までに「駐車証」及び「駐車場案内図」を送付します。

【問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所 総務課

担当 瀧本、高本

TEL 0739-22-4564(代表)

※送付状は不要ですので、本紙のみをそのままFAXしてください。【3月11日(金)12時締め切り】

# 事業の概要【参考】

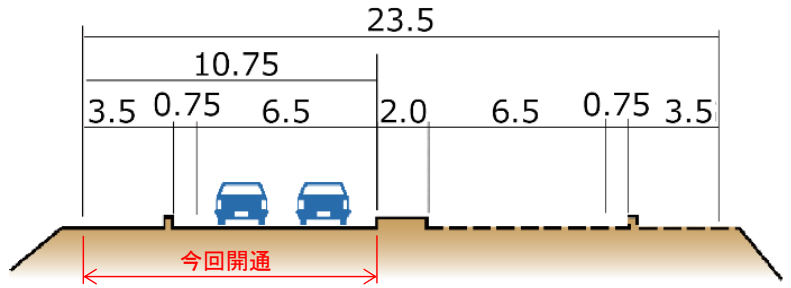
田辺西バイパスは、近畿自動車道紀勢線南紀田辺ICへのアクセス道路としての役割を担うとともに、紀伊半島沿岸部をつなぐ唯一の主要幹線道路である国道42号の交通混雑の緩和、地域住民の利便性向上、交通安全の確保、災害時の交通確保を目的とする道路です。

## ○開通概要

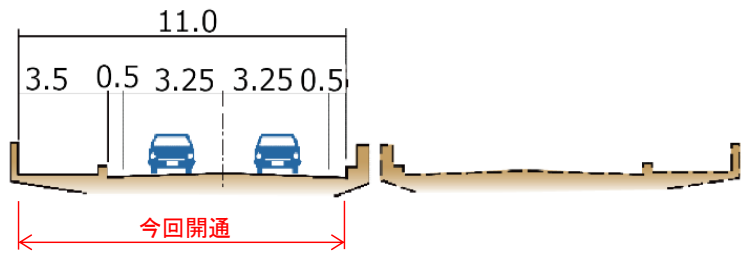
区 間	(起) 和歌山県田辺市芳養町清地路 (終) 和歌山県田辺市芳養町大屋
道路延長	1.6km
構造規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
車 線 数	暫定2車線
標準幅員	【一般部】10.75m【橋梁部】11.0m

## ○標準断面図（今回開通区間）

### 【一般部（土工部）】



### 【橋梁部】



## ○主な事業の経緯

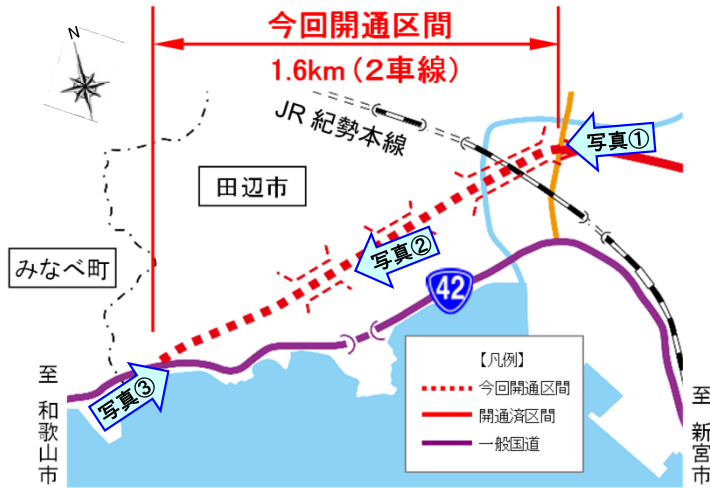
年 度	事業実施項目
平成9年度	事業化
平成13年度	用地着手
平成13年度	工事着手
平成19年度	IC区間（0.6km）完成4車線供用 (田辺市稲成町稲成)
平成25年度	一部区間（1.6km）暫定2車線供用 (田辺市稲成町稲成～芳養町清地路)





# 現在の現場状況【参考】

## 【位置図】



写真①

至 和歌山市

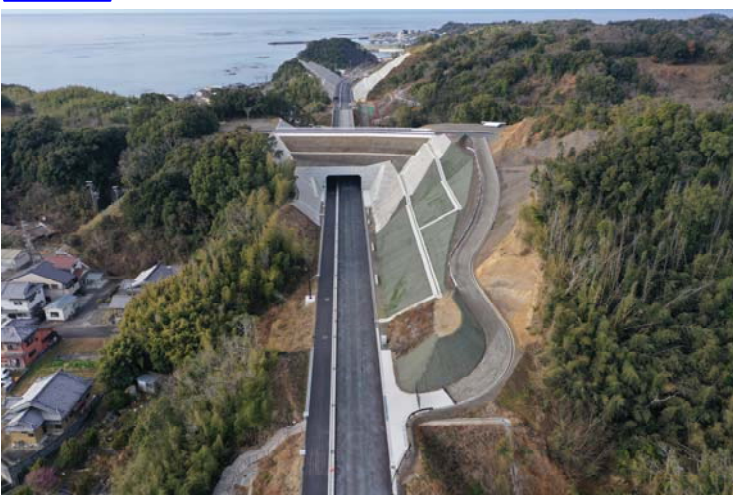


至 新宮市

R4.1撮影

写真②

至 和歌山市



至 新宮市

R4.1撮影

写真③

至 新宮市



至 和歌山市

R4.1撮影



# 期待される整備効果【参考】

## ◇交通混雑の緩和

- ・田辺西バイパスに並行する国道42号(現道)では明洋交差点において交通混雑が発生していたが、平成26年3月、田辺西バイパスの部分開通により交通混雑が緩和。
- ・交通混雑が残る国道42号芳養松原交差点において、今回の田辺西バイパス全線開通により交通混雑の緩和が期待される。



写真A 国道42号 芳養松原交差点の混雑状況



H29.10撮影

写真B (県)芳養清川線 芳養松原交差点の混雑状況



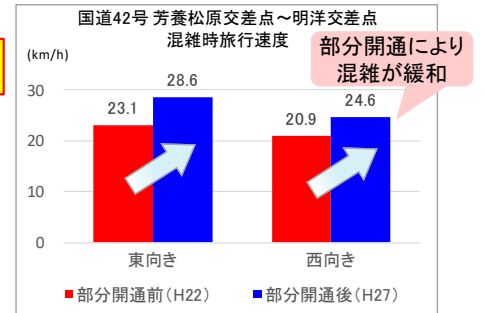
H29.10撮影

写真C 国道42号 明洋交差点の混雑状況



H23.7.22(金)撮影

H26.6.13(金)撮影



出典: 全国道路・街路交通情勢調査、一般交通量調査

## ◇地域住民の利便性向上

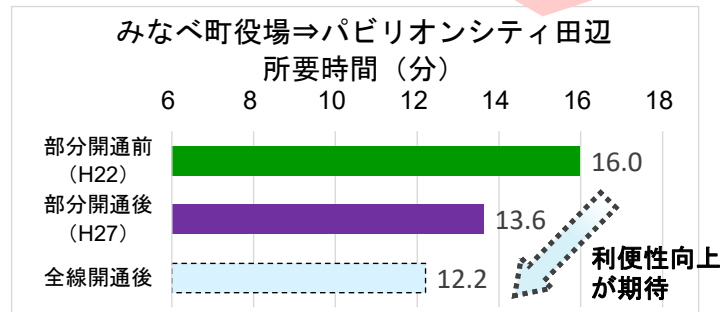
- ・田辺西バイパスの部分開通により、みなべ町から地域最大の大型ショッピングセンターへのアクセス時間が短縮。今回の全線開通により、みなべ町民の更なる利便性向上が期待される。



部分開通前のルート (Route before partial opening)  
 部分開通後のルート (Route after partial opening)  
 全線開通後のルート (Route after full opening)



みなべ町から大型ショッピングセンターへの所要時間が短縮



出典: 全国道路・街路交通情勢調査、一般交通量調査  
 全線開通後: 開通区間は設計速度(60km/h)、その他区間はH27と同条件で算出

みなべ町から多くの町民が、田辺西バイパスを利用して、田辺市内の商業施設へ買い物に行きます。これまでの田辺西バイパスの開通により、買い物に行く回数が増えまし、何より安心安全に行くことができるようになってよかったです。全線開通により、さらに便利に、安心安全になることを期待します。



みなべ町総務課

※国土地理院の地理院タイル(ベースマップ・標準地図)を加工して作成

出典: 紀南河川国道事務所ヒアリング(R3.2)



# 期待される整備効果【参考】

## ◇交通安全の確保

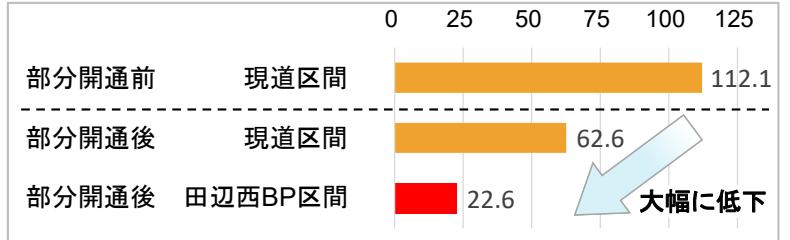
- ・国道42号の現道では、<sup>たなべにし</sup>田辺西バイパスの部分開通前の死傷事故率は112件/億台キロであったが、部分開通後には41件/億台キロにまで低下。
- ・今回の開通により、更なる交通死傷事故率の低下が期待される。

田辺西バイパス部分開通(H26.3)後の死傷事故発生箇所



田辺西バイパスの部分開通前に比べて、  
現道もバイパスも死傷事故率が大幅に低下

国道42号(現道)及び田辺西バイパスの死傷事故率(件/億台キロ)

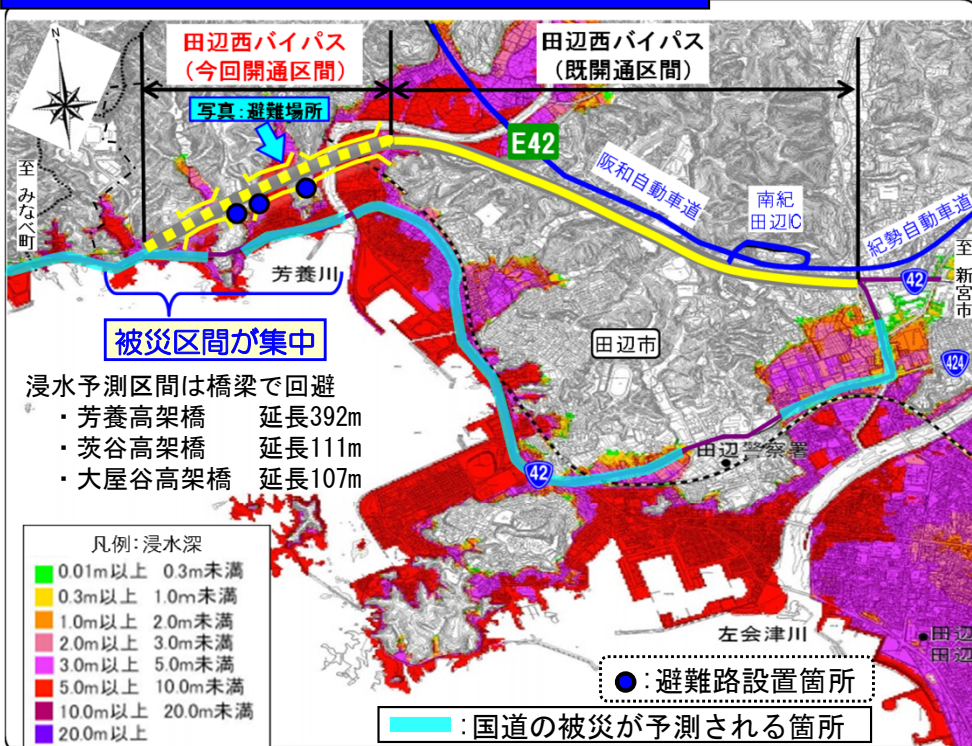


出典: 死傷事故件数 交通事故総合分析センター  
(開通前: H25.4.1~H26.3.14、開通後: H26.3.15~H30.3.31)  
交通量 全国道路・街路交通情勢調査、一般交通量調査  
(開通前: 平成22年、開通後: 平成27年)  
部分開通後の死傷事故率は現道区間とバイパス区間の走行台キロによる加重平均値

## ◇災害時の交通確保

- ・田辺西バイパスと並行する国道42号(5.6km)について、東南海・南海地震時に予想される津波浸水被害予測延長は約4km(約7割が被災)。
- ・東南海・南海地震時の津波により、国道42号が浸水した際には、<sup>たなべにし</sup>田辺西バイパスが迂回路および避難路として機能することで、物流や市民生活の機能確保が期待される。

### ●田辺西バイパスの現道区間での津波浸水予測図



### 写真 避難路の設置

